

「長岡の聾史をふりかえる」

司 会／佐藤 聖 (長岡・日本聾史学会運営委員)
パネラー／山岸 信治氏 (川崎・長岡聾学校卒業生)
高橋惣太郎氏 (新発田・長岡聾学校卒業生)
岩田 清枝氏 (長岡・長岡聾学校卒業生)
水野 ミサ氏 (東京・長岡聾学校卒業生)

佐藤

私が司会を務めさせていただきますので、宜しくお願い致します。進行上、至らぬ点がございましたら、どうか御寛容のほどお願い致します。

佐藤

長期に亘って図書館、大学、聾学校、先輩の協力で文献・写真を収集してきました。この中から貴重と思われる写真を選びました。これから公開させていただきますので、ゆっくりとご覧下さい。

(パワーポイントによる写真投影)

佐藤

皆さん如何でしょうか？いよいよトークショーに入らせて頂きます。山岸さん登壇をお願い申し上げます。

【山岸さん登壇】

佐藤

山岸さんを紹介させていただきます。長岡聾学校を卒業された方で、色々な先輩との交友が豊富でいらっしゃいます。だからお招きさせていただきました。つかぬことを訊きますが、いつ卒業なされたのでしょうか？

山岸

昭和37年卒業。

佐藤

昭和37年ですか？実を言うと私がまだ生まれていません。(笑)

佐藤

私は昭和56年卒でした。高等部じゃなくて中学部でした。これまでは偉大な先輩がいたことを全て知りませんでした。あるきっかけで、調査活動を始めました。ある行事で、山岸さんに逢えました。いつでしたかしら？

山岸

今から5年前かな？いや7年前かな？覚えていませんけど。

佐藤

1995年頃だと思いますが、まさに光陰矢の如しですね。これ以後、毎年の全国ろうあ者大会でよくお会いしてきましたが、会釈する程度で、大先輩ですから遠慮させて頂いてきました。今日は色々聞かせて下さい。

佐藤

昭和37年に巣立ったようですが、その後どうさ

れましたか？

山岸

卒業後上京した。長岡に求人がなく東京に先輩が多くいるからでした。長岡で生まれて17年間暮らしていました。

佐藤

当時の社会状況を教えて下さい。

山岸

どなたもご存知のはず。昔は、FAXがない、携帯電話がない、日常生活上不便が沢山あり、大変でした。筆談で苦労したり、ツンボ・オシといわれるし、苛められるし、悔しいのを耐えてきた。私より長く生き抜いている先輩がもっと大変だったはず。色々聞いた方がいいでしょう。

佐藤

そんなに酷かったのですか？

山岸

そう。長年のろうあ運動で頑張ってきたんだ。聾啞者に対する理解が広がってきた。お陰様で今の生活が成り立っているんだよ。

佐藤

現在、自動車運転免許取得ができるのですが、当時はできましたか？

山岸

いいえ、できませんでした。聾学校の先生に「耳が聞こえないから無理です。諦めて下さい。」と言われてたし、上京後、先輩達に「変えてやるぞ！聴者と対等にしないとダメ！」と言われるし、ろうあ運動が実って昭和48年に条件付きで取得できるようになったけど、最近新聞で知ったんですが、北海道、広島で交通上問題を起こしているの、その動向を心配しています。韓国等は補聴器なくても取得できるようになったが、日本は明らかに遅れていますね。

佐藤

そうですね。今の聾青年をどう思いますか？

山岸

認識不足で、自分自身の努力が実って取ったと思い込む人が多いですね。ろうあ運動で変えてくれた有り難さを学んで欲しいですね。心の中で憤りを感じている役員経験者が多くいると思いますよ。

佐藤

男性のことより女性のことを聞かせて下さい。

山岸

今は男女平等（男女同権）ですが、昔は違う。亭主関白が圧倒的でした。軍事大国で、男児誕生が慶ばれる世の中でした。例えば「結婚」「離婚」の手話表現を説明致します。現在は「結婚」＝「男女が対等に結ぶ」「離婚」＝「男女が対等に離れる」ですよ。一目瞭然ですね。昔は「結婚」＝「嫁を貰う」「離婚」＝「嫁を追い出す」の表現でした。

佐藤

聴者と聾者との関係についてどうでしたか？

山岸

先程言いましたように、差別が大変酷かった。ろう者に対する偏見・卑下が酷かった世の中でした。聾学校にいた頃でも「諦めて下さい。我慢して下さい。」の言葉を随分もらいました。

佐藤

「ガマンして下さい」って、ひどいではありませんか？

山岸

地方では殆どでしたが、東京聾啞学校出身者（現在の筑波大学附属聾学校）は違って良かったです。秀才も活動家も自立している人も多くいましたよ。「彼らに負けてたまるか？」と思い、あの水準に追いつくように必死に頑張ってきました。

佐藤

ちょっと話がそれるのですが、最近の全国ろうあ者大会で山岸さんを見かけなくなりましたが。

山岸

実をいうと神奈川県、川崎市の役員を退いたので。

佐藤

本当ですか？

山岸

「これ以上迷惑をかけられない」と決断の末、会社を早期退職でリタイヤしてろうあ運動も引退して悠々自適で過ごしています。

佐藤

あらそうですか？長い間本当にお疲れ様でした。

山岸

最近、手話指導・講演を依頼されるようになってきました。(笑)

佐藤

昔の生活状況が大変不便だったこと、今の話でわかりました。でも、疑問がございます。横尾義智さんをご存知ですよ。どうして村長という大役を果たしたのでしょうか？昭和38年に横尾さんが亡くなられたけど、これまでに交友があったのでしょうか？

山岸

はい、そうです。私の両親が聾者だったので、その友人でした。私が3歳の時に父が他界したので、母の手ひとつで育てられてきました。長岡で行事がある度に横尾さんがよく泊まりに来て、よくかわいがってくれました。でも「村長になったことがあるよ」とは、教えてくれませんでした。母までもそう

でした。横尾さんは貫禄のある紳士だなあという記憶があります。ずっと知らないままで、交友が深まっていました。金子進太郎さんもよく来ていました。逆に訪問したことがあります。丸山浩太先生は聾学校で会っていました。先生と生徒の関係でした。

佐藤

横尾さん、金子さんは既に職を退いた身ですよ。丸山浩太さんはまだ教鞭を執っていたんですよ。

佐藤

横尾さんは村長を務めたことを隠していたのか？それとも言う機会がなかったのか？

山岸

母が説明してくれませんでした。上京してから友人の話で知ったわけです。最初はまさかと思い、裏付ける資料を読ませて頂いて唖然でした。スゴイと思いましたね。

佐藤

私もまさかと思いましたよ。半信半疑でした。

山岸

本当に驚愕しましたね。

佐藤

何故宣伝しないの？本当に残念だと思っているんですが。

山岸

そうですね。全日本ろうあ連盟は何もしていませんね。こういう活動をすればいいのに。日本聾史学会の活動を高く評価しています。昨日の論文発表を観て本当に驚いてしまいました。聾刀鍛冶がいたって。きっと偉大な先輩が多いと思います。調査活動に頑張ってください。

佐藤

素晴らしい話、ありがとうございます。横尾さんが山岸さんのお宅によく行っていたようですが、逆に横尾さんのお宅に行ったことがございますか？

山岸

私はありませんが、母は行ったことがあるようです。母の話では、横尾さんの家が太裕福で広くて大きかったし、人力車まであるって。刀等も陳列されているって。

佐藤

つまり山岸さんは横尾さんのお宅に行ったことがない。残念なことでした。

山岸

最近、横尾家跡に行ったことがあります。

佐藤

今なら、長岡から車で一時間位で行けますが、昔でしたら、どのくらいかかるのですか？

山岸

横尾さんの家は山奥にあり、交通上不便で、朝早く行かないと駄目です。途中で泊まる必要があるし、歩いて行かないと駄目です。

佐藤

えっ！二日もかかるのですか？

山岸

そうです。

佐藤

同じ新潟県なのに。そんなに遠かったのですか。

佐藤

丸山浩太先生に教わったことがございましたか？

山岸

いいえ、私は竹芸を習っていました。丸山先生は被服でしたので、直接教わったことがない。

佐藤

聾学校以外に交友がございましたか？

山岸

両親の影響で、多くありました。在籍していた頃の聾教師は金子、丸山先生でした。多田先生は全く知りませんでした。

佐藤

金子進太郎先生の家は聾学校に近いでしたね。山岸さんのお宅はどちらでしたか？

山岸

長岡駅裏の四郎丸町に住んでいました。実家は六日町（南魚沼市）でした。

佐藤

昭和36年頃に公開された、聾者夫婦をモデルとした「名もなく貧しく美しく」映画をご存知ですか？長岡にも放映されたのでしょうか？観たことがございましたか？

山岸

上京してから観ました。長岡では知りませんでした。

佐藤

手話会話のみに字幕がついたのですが、会話には字幕がありませんでした。内容を把握できず観賞を楽しめませんでした。最近DVDが発売されており、全てに字幕がつけましたので、内容を把握できて昔の生活状況を知ることができました。昔でしたら観賞手段が乏しくて面白くなかったでしょうね。

山岸

おお！

佐藤

どう感じたのか？聞かせてくれますか？

山岸

映画で公開された、お客様が来たことを知らせる合図のようなモノは私の家も使っていました。今のパトライトですね。戸を開けるとおもりが降りるしくみでしたね。懐かしいねえ。

佐藤

呼び鈴のことですか？

山岸

そう。

佐藤

どなたが発案したのですか？

山岸

わかりませんが、母の友人の協力で取り付けたと

思う。

佐藤

他に何かございましたか？

山岸

ありませんね。昔はFAX・字幕チューナー・携帯電話・振動付き時計等がありませんでしたね。

佐藤

早く起きる方法はどうされましたか？

山岸

殆ど母に起こされました。自力で起き上がれませんでした。

佐藤

寝坊してしまった場合、仕方がなくあきらめるんですか？

山岸

はい、そうですね。

佐藤

そろそろ時間になりましたが、高橋さん、登壇をお願い致します。

【高橋さん登壇】

高橋

初めまして！宜しくお願い致します。

佐藤

高橋さんを紹介させていただきます。皆さん、お年はいくつに見えますか？

佐藤

誠に失礼ですが、お年を教えてくださいませんか？

高橋

89歳です。

佐藤

えっ！89歳ですって！

山岸

大正4年生まれでしょうか。

高橋

いや、大正5年生まれです。

山岸

父をご存知でしょうか？

高橋

知っています。あなたがその子息だと知りませんでした。

山岸

どちらが先輩ですか？

高橋

山岸さんは私の先輩でした。手話がうまい人でした。

佐藤

今の手話（サインネーム）は何ですか？説明して頂けますか？

山岸

父のサインネームです。昔、今のように「山／岸」と表現しない代わりに顔・身体的特徴を捉えてサインネームを皆で相談して決めることが多いんです。ものまねが優れている先輩は多いんですね。

高橋
山岸さんも先輩も活動的でしたね。既に亡くなられていますが、人気がありました。

山岸
高橋さんの家はどちらですか？

高橋
新発田で生まれました。そこで暮らしています。

佐藤
多田眞佐雄先生をご存知ですか？

高橋
知っています。福岡から来ました聾教師ですよ。教わったことがあります。

山岸
多田先生はいつ亡くなられたかご存知ですか？

高橋
覚えていないが、亡くなられたと聞いただけ。

山岸
戦前に多田先生は教えていたのですか？

高橋
正確にいうと満州事変が起こる前から教えていた。

山岸
何の教科を担当したのでしょうか？

高橋
普通科を担当していた。金子、丸山両先生は被服を担当していた。

山岸
おお！普通科ですか？

高橋
校長先生は聾教師を解雇しようと考えていたという話を聞いたことがありますが、真実はどうかわかりませんけど。

山岸
おお！三人とも無事に定年まで勤められましたけど。

高橋
ところで、横尾の話をしよう。村では、横尾が通り過ぎる時、村民が敬礼していた。しかも全国各地によく出かけていた。

佐藤
横尾が長岡聾学校に来ていましたか？

高橋
そう、よく来ていた。

山岸
村長だったと知っていましたか？

高橋
そう、長岡いや、新潟というより全国中の評判になっていましたよ。金子さんの家によく泊まっていた。

佐藤
高橋さんは時計の修理をやっていたと聞きました。

高橋
最初は父に勧められましたが、嫌でした。丸山先

生の家へ訪問して相談した結果、「やりなさい！全国中が驚くに違いない！」と説得・激励されてしまい、意を決して始めました。あらゆる時計の分解・修理が面白くて直ることが楽しくて、第一に柱時計、第二に目覚まし時計、第三に懐中時計、第四に腕時計で営んでいました。

山岸
柱時計、目覚まし時計、懐中時計、腕時計を修理していたんですね。どのくらい働いていたの？

高橋
50年くらい。今はやっていませんが。

山岸
えっ！50年！

高橋
募金をこつこつと貯めて創立者金子徳十郎氏の銅像が設置されてよかった。確かに長岡聾学校にあると思う。

佐藤
間違いなくこの写真でしょうか？（金子徳十郎氏の銅像の写真を見せる）

高橋
そう。念願がかなってよかった。これからも大事にして下さいよ。

田中（長岡）
私は長岡聾学校同窓会会長です。記念事業として銅像を作る計画をしたわけです。募金三百万円を集めて設置した。皆さんよかったら観に行ってください。

佐藤
どなたか質問したい人がいませんか？

中根伸（北海道）
聾教師は手話で教えたのでしょうか？それとも口話で教えたのでしょうか？

高橋
三人とも手話で教えていました。

佐藤
聴者教師は手話を使っていたのでしょうか？

高橋
手話ができるが、聾教師に遠く及ばない程度でした。聾教師は流暢でしたね。

山岸
多田先生のことを知りませんでした。金子・丸山先生は手話で教えていたことを覚えております。

佐藤
声つき手話でしたか？それとも声なし手話でしたか？

山岸
声なし手話でした。手話を禁じていたので、聴者教師は全て口話でした。卒業するまで「わかりましたか？」の繰り返しでした。うんざりでした。

佐藤
休憩に入らせて頂きます。

（休憩）
佐藤

高橋さんが降壇されますので、拍手で送って下さい。お疲れ様でした。

【高橋さん着席】

佐藤

再開する前にもう一度ご覧下さい。

(パワーポイントによる写真投影)

佐藤

先ほどの写真を公開したのですが、生存者がここにいらっしやっています。岩田さん登壇をお願い致します。

【岩田さん登壇】

佐藤

岩田さんを紹介させていただきます。

岩田

岩田と申します。宜しくお願い致します。

佐藤

いつ長岡豊学校に入学したのでしょうか？

岩田

昭和11年でした。

佐藤

岩田さんのお宅はどちらでしたか？

岩田

長岡市船江町でした。

佐藤

岩田さんは戦前から長岡で生まれ育ちました。

佐藤

卒業はいつでしたか？戦後に？戦前に？

岩田

昭和18年でした。すぐ仕事を始めた。家は空襲で焼失した。

佐藤

昭和11年～18年に長岡豊学校で学んでいましたよね。つまり三人の聾教師をご存知でしたよね。

岩田

丸山先生に教わったことがあります。多田先生は習字を教えていました。達筆でした。

佐藤

三人とも手話で教えていたのでしょうかね。

岩田

聾者だから手話でした。当時は手話を禁じていませんでした。

佐藤

昭和12年にヘレン・ケラー女史が来岡されました様子を話して頂けますか？

岩田

私たちは聾学校の前で待機していましたが、邪魔が入ってきて通り過ぎる姿が一瞬しか見えませんでした。在校生3人が花束を贈ったのを目撃しました。2人は既に亡くなられましたが、残る一人が健在で、神田さんという女性です。ここに神田さんがいますが、どうしていられますか。

佐藤

写真の左の女の子は健在で、今長岡に暮らしてい

ます。出演交渉したのですが、断われてしまい、本当に残念です。

佐藤

花束を贈ったのを目撃しましたよね。その様子を話して下さい。

岩田

花束を贈る役は、先生によって選ばれたと思います。花束を贈るシーンは時間が短く感じられました。そしてその3人は長岡市公会堂へ行きました。

佐藤

参加者より情報を頂きましたので、お知らせ致します。花束を贈る、握手する、抱き合うの順で行われたようです。

山岸

「抱き合う」の行動様式は欧米流の挨拶で、軽く抱き合う。日本の場合はないですが。

佐藤

長岡市公会堂に行ったのですか？

岩田

私は小さかったので、行きませんでした。先輩等が行ったようで、超満員で盛会だったそうです。

佐藤

話が変わりますが、小西信八先生来日記念写真をご覧下さい。この中に岩田さんもいました。

(パワーポイントによる写真投影)

佐藤

小西先生がお見えになった様子を話して下さい。

岩田

小西先生とお供している女性が来ていたのを覚えています。ちょっと脱線しますが、昨年亡くなられた田中春世先生は小西を指導した田中春回先生の孫でした。手話がうまい先生でしたね。黒田先生がまだ健在で手話も上手かった。

佐藤

聴者教師は手話を使っていましたか？

岩田

少数でしたね。

岩田

長岡空襲は、決して忘れられない出来事でした。勤めてきた工場から戻った夜は蒸し暑くて眠れなかった。確かに7月31日夜10時頃でした。寝ていたんですが、母に頭を叩かれて起こされた。重大状況に気がついて家族一同で避難した。大変でした。空襲前に栃尾市(長岡市の隣)へ家財などを運んでいたのも、被害が少なく済んで幸いでした。

佐藤

先ほど長岡空襲の話がありましたが、本当に7月31日の出来事でしょうか？

岩田

そうですよ。

佐藤

すみませんが、水野さん登壇をお願い致します。

【水野さん登壇】

佐藤

戦争を知らない私ですから、社会勉強、長岡戦災資料館見学等を通して「8月1日」と学んできました。「7月31日」と言われると疑問に思います。学んだことを説明致します。8月1日にグアム辺りから多くの米軍戦闘機が飛び、長岡、富山、水戸、八王子を空襲した史実があります。富山、水戸、八王子から参加している人はいませんか？

匿名（富山）

確かに8月ですが、日にちはわかりません。

匿名（水戸）

嫁いだので、全くわかりません。すみません。

佐藤

八王子からの参加者がいないようで、回答を頂けませんでした。(T_T)

佐藤

全て「8月1日」の回答でしたら、余計わからなくなりますね。「7月31日」であったことの裏付けをとれる話をお願いしますか？

水野

間違いなく7月31日です。8月1日ではありません。長岡へ汽車で行くために切符が必要ですよ。硬質乗車券を知っていますか？往復乗車券を購入した際に日付刻印機で「7月31日」と刻印されたのをよく覚えています。復路の切符を所有していました。その夜10時頃に空襲が起こったわけです。

岩田

私は工場から帰ってきたのをよく覚えています。カレンダーも7月31日となっていました。水野さんの言う通り日にちが一致しています。何故8月1日なのか？わかりませんが。

山岸

どうして8月1日になっているの？何か理由があるかね？

佐藤

(?_?) 富山、水戸に帰ってから、空襲発生日を確認して下さい。

水野

聾学校の先生について少し説明させていただきます。多田先生は発音が上手でしゃべれます。十見ハツ先生は聴者ですが、手話が上手かった。田中先生、黒田先生もそうでした。金子先生は口話法についていけない児童を担当して手話で教えていた時期がありました。丸山先生をリストラする話が出ていました。丸山先生は家族を扶養しなくてはならないので、授業上手話を使わないことを厳しい条件に何とか続けられました。大変苦しかったようです。

佐藤

丸山先生を追放しそうに？

水野

ハイそうですよ。多田先生は定年間近なので、そういう話がありませんでした。

佐藤

金子先生を追放する話がでなかったのですか？

水野

金子先生の父は学校創立者なので、時々来ていました。こういう関係から簡単に追放できないのでは？当然でしょう？と思います。

佐藤

色々な話が聞けてよかったです。これから質問コーナーです。質問したい方は挙手をお願い致します。

中根伸（北海道）

新潟県に聾学校が二校ありますよね。手話について異なる点がありますか？

山岸

知っている範囲で答えさせていただきます。違いがあります。例えば「友達」「東京」を説明致します。長岡の表現方法は大体通じますが、東京流手話を踏襲しているからです。新潟の表現方法は独自なので、初めて目にするのが多く珍しく面白と思います。「友達」＝「頬に数字の2をくつつく動作を左右に繰り返す」「東京」＝「／東京／の人差し指を少し曲げて上下に動く」

水野

長岡の場合は卒業してから上京する卒業生が多いため、真面目で我慢強く活動的で大活躍していることを誇りに思っています。お蔭様で、長岡の手話がしっかりと引き継がれていると思います。首都圏でも長岡の手話を時々見かけることがあります。新潟もそうですが、おとなしい人が多く活動が控え目ですね。

石黒（栃木）

新潟県に於ける聾盲学校の変遷について確認したい。昔、柏崎にあったと聞いていますが、知っている人がいましたら、教えて下さい。

水野

盲学校ですか？ 戦前に長岡にもありましたが、聾学校の中にあり併置でした。運営上問題が多くあり、新潟盲学校に転校させる等の解決を図ってきました。高田、新発田にもあったと聞いています。でも、柏崎にあったって、知りませんでした。

田中（長岡）

柏崎に住む後輩の報告で知りましたが、本当にあったようです。詳しいことはわかりませんが、いつか報告したいと思います。高田盲学校は来年（2006年）で閉校することになりました。新潟盲学校だけとなります。地理的に遠くて通えない生徒は養護学校に編入させる等の動きがあるようです。聾学校は合併等の動きが出ていません。生徒減少傾向が続いていますが、その動向を心配しています。

佐藤

以前に発表したことがありますので、もう一度説明させていただきます。校名は「中越盲聾学校」で、柏崎にて明治41年に創立、大正12年に閉校した史実があります。創立者は医者でした。

小島（愛知）

聾教師は結婚していましたか？お子さんがおられましたか？

水野

三人とも結婚していました。多田先生の子供は2人。丸山先生の子供は4人。金子先生の子供はいません。

佐藤

時間になりましたので、お開きにさせていただきます。壇上の方々に拍手を送って下さい。皆様、ご清聴（観）ありがとうございました。